2026 年 11 月
住宅金融支援機構

国際・調査部

住宅ローン利用者の実態調査結果
＜住宅ローン利用予定者調査（2026 年６月調査）＞
（概要）

Ⅰ 調査の概要

今後５年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象に、住宅取得に向けた意識や希望する住宅ローン等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

なお、本調査（2026 年度６月調査）から調査委託機関が変わり、それに伴ってアンケート回答者の集団も変わっております。また、調査精度の向上を目的に設問を一部見直しました。これに伴い、回答者の属性等に変化が生じています。

（参考）調査実施時期：2026 年６月 22 日～７月３日、回答数：1,288 件

Ⅱ 調査結果の主なポイント

〈 〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

１．希望する住宅ローンの金利タイプ〈p.12〉
－「固定期間選択型」が最も多く 43.0%－

「変動型」　　：30.7%
「固定期間選択型」：43.0%
「全期間固定型」　：26.3%

２．今後１年間の住宅ローン金利の見通し〈p.15〉
－「現状よりも上昇する」が最も多く 62.7%－

「現状よりも上昇する」：62.7%
「ほとんど変わらない」：19.8%
「現状よりも低下する」：10.1%
「見当がつかない」　　：　7.4%

３．希望している金利タイプのメリット・デメリットの理解度〈p.13〉
－「理解しているか少し不安・よく理解していない・全く理解していない」と回答している方の合計が 54.1%－

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ（https://www.jhf.go.jp/about/research/loan/user/index.html）に掲載